

# 英語科学習指導案

鷹取中学校 授業者：高橋 京子

- 1 日時 平成 22 年 11 月 4 日 (木)
- 2 学年・組 3 年 2 組 (34 名)
- 3 単元名 Unit 5 A Future Career

## 【1】 つまづきの把握

平成 21 年度「基礎・基本」定着状況調査 中学校 英語 102

次の 1・2 はあなた自身のことについてたずねています。答えを I で始まる英文 1 文で書きなさい。  
2 あなたは先週の日曜日、何をしましたか。

I \_\_\_\_\_

### 【出題の趣旨】

過去形を用いて、自分のことについて内容を考え、語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができるかどうかを見る。

### 【学習指導要領の内容・領域】

- エ 書くこと (ウ) 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように書くこと。  
(エ) 身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちなどを書くこと。

	正答率	解答類型	1 正答	2 準正答	3 誤答	4 誤答	5 誤答	9 誤答	無解答
本校	31.5%	本校の割合 (%)	31.5	3.9	29.9	17.3	0.0	0.8	16.5
広島県	%								

### この問題を解くために必要な力

- ・過去形を正しく使う力。
- ・質問に対する適切な答えの文を作るための語彙力。
- ・文のきまりに沿って正しい語順で文を書く力。

### 誤答分析

解答類型 3 について

I watch TV yesterday. や I play basketball yesterday. など、過去を表す語句は書いているが、動詞が過去形になっていない。これは、動詞を過去形にする方法は理解していても、それをどのような場合に使うのか、またどのような語句とともに使うのかを理解していないと考えられる。

解答類型 4 について

類型 5 のうち、was play, was watch など be 動詞と一般動詞の使い分けが明確でなく、同時に用いている誤答がこの類型の約 40% を占めている。これは、一般動詞における過去形の構造の定着が不十分であると考えられる。

解答類型 9 について

類型 9 「上記以外の解答」では、時制を正しく判断し問いに対して適切にこたえる力が不足している。

無解答について

16.5% と多く、英語使って自分を表現する活動に意欲的でない生徒が多い。

## 【 2 】 指導改善ポイントの明確化

### 調査結果からみる課題

#### 【課題となる力】

- ・ 動詞の変化を意識して，文を正しく書く力
- ・ 場面に合った適切な表現を考える力

#### 【指導上の課題】

- ・ 動詞の変化に着目させた英作文の指導が不十分である。
- ・ 機械的なドリル活動の繰り返して，意味のあるドリル活動になっていない。

### 指導改善ポイント

#### 既習事項を用いた帯活動の工夫と「書く」場面の設定

#### 【指導の工夫】



動詞の変化を意識したドリル活動を行う。



具体的で分かりやすい場面を設定し，英文を書かせる。



動詞の変化を意識したドリル活動を行う。

Warm up で ,Thinking Drill のワークシートを見ながらペアで日本語を英文に変えて口頭練習をしたり，指導者の日本語を英文に変えて書く練習をしたりする。その際，動詞の変化を意識する英文を用いる。

I	have	a friend	who	studies went can play is	hard every day. to America last year. the piano. kind to everyone.
---	------	----------	-----	-----------------------------------	---



具体的で分かりやすい場面を設定し，英文を書かせる。

友だちの将来の夢を紹介する場面を設定する。

例文を提示する。

自分が紹介する友だちについての情報を整理させる。

主格の関係代名詞 who を含む文を使って説明する文を書かせる。

動詞に 印をつけさせ，動詞の形が正しいかを確認させる。

代表に全体の場で発表させる。

## 【 3 】 単元について

本単元は、ジャーナリストになりたいと話すジェニーに対して、なかなか将来の夢を話そうとしないヒロが描かれている。本当は社会福祉の仕事をしたいけれど自信を持ってないヒロが、ジェニーに自分の夢を打ち明ける内容である。本文を参考にして、生徒自身の夢についても伝えることができる題材である。

新学習指導要領「ア 聞くこと」の指導事項「(イ) 自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取ること。」また「イ 話すこと」の指導事項「(イ) 自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること。」さらに「エ 書くこと」の指導事項「(ウ) 聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書いたりなどすること。」をねらいとして指導を行う。

言語材料としては、「エ 文法事項」の(ウ)代名詞 b 関係代名詞のうち主格の *that, which, who* 及び目的格の *that, which* の制限的用法と(イ)文構造 c (b) 主語 + 動詞 + *what* などではまる節を扱う。これらの構文を用いて、人や物についてくわしく説明するなどの豊かな表現活動を行うことができる。

## 【 4 】 単元の目標

ア コミュニケーションへの意欲・関心・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
理解できないところがあっても、推測するなどして聞き続ける。言語活動において、自ら学んだ表現を使っている。	場面に応じて、関係代名詞や主語 + 動詞 + <i>what</i> などではまる節を含む英文を使って話すことができる。正しい強勢、イントネーション、区切りなどを用いて音読できる。関係代名詞や主語 + 動詞 + <i>what</i> などではまる節を含む英文を用いて、説明する文を正しく書くことができる。	関係代名詞や主語 + 動詞 + <i>what</i> などではまる節を含む英文を聞いて大切な部分を聞きとることができる。関係代名詞や主語 + 動詞 + <i>what</i> などではまる節を含む英文で書かれた内容について正しく読み取ることができる。	関係代名詞や主語 + 動詞 + <i>what</i> などではまる節を含む英文の文構造の知識がある。

## 【 5 】 指導と評価の計画

(全10時間)

次	学習内容(時数)	評価					
		関	表	理	知	評価規準	評価方法
一	主格の関係代名詞 <i>who</i> を用いた文の形、意味用法を理解する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                         目標                          主格の関係代名詞 <i>who</i> を使って、正しい語順で英文を書くことができる。                     </div>					エ 関係代名詞の文構造の知識がある。 ア 言語活動において、自ら学んだ表現などを使っている。	ワークシート

二	<p>主格の関係代名詞whichを用いた文の形，意味用法を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>目標 主格の関係代名詞whichを使って，正しい語順で英文を書くことができる。</p> </div>				<p>エ 関係代名詞の文構造の知識がある。</p> <p>ア 言語活動において，自ら学んだ表現などを使っている。</p>	ワークシート
三	<p>主語 + 動詞 + whatなどで始まる節を含む文の形，意味，用法を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>目標 主語 + 動詞 + whatなどで始まる節を含む文を使って，正しい語順で英文を書くことができる。</p> </div>				<p>エ 主語 + 動詞 + whatなどで始まる節を含む文の文構造の知識がある。</p> <p>ア 言語活動において，自ら学んだ表現などを使っている。</p>	ワークシート
四	<p>本文の内容を理解する。(4)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>目標 教科書の内容を把握し，質問に答えることができるようになる。 強勢，イントネーション，区切りを意識して音読できるようになる。</p> </div>				<p>ア 理解できないところがあっても，推測するなどして聞き続ける。</p> <p>イ 正しい強勢，イントネーション，区切りなどを用いて音読できる。</p> <p>ウ 関係代名詞や主語 + 動詞 + whatなどで始まる節を含む英文を聞いて大切な部分を聞きとることができる。</p> <p>ウ 書かれた内容について正しく読み取ることができる。</p>	ワークシート
五	<p>Communication Task 関係代名詞の文などを使って，友だちについて説明する文を作る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>目標 関係代名詞 who の文を使って，友だちの夢などについて正しく話せる。</p> </div>				<p>ア 言語活動において，自ら学んだ表現などを使っている。</p> <p>イ 場面に応じて，関係代名詞や主語 + 動詞 + what など始まる節を含む部英文を使って話すことができる。</p>	ワークシート 授業観察
六	<p>Communication Task 関係代名詞の文などを使って，友だちについて説明する文を作る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>目標 関係代名詞 who の文を使って，友だちの夢などについて正しく書ける。</p> </div>	○			<p>ア 言語活動において，自ら学んだ表現などを使っている。</p> <p>イ 関係代名詞や主語 + 動詞 + whatなどで始まる節を含む英文を用いて，説明する文を正しく書くことができる。</p>	
七	<p>単元テスト</p>			○	<p>イ 関係代名詞や主語 + 動詞 + whatなどで始まる節を含む英文を用いて，何かを説明する文を正しく書くことができる。</p>	ワークシート

## 【 6 】 本時の学習

( 1 ) 本時の目標

関係代名詞 **who** を使って、友たちについて説明する文を正しく書ける。

( 2 ) 本時の学習展開

学習活動と予想される反応	指導上の留意事項	評価規準（評価方法）						
<b>1 Warm up</b>								
<p>あいさつ Q &amp; A</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;">Thinking Drill で練習をしよう。</div> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">I</td> <td style="width: 10%;">have</td> <td style="width: 10%;">a friend</td> <td style="width: 10%;">who</td> <td style="width: 10%;">studies went can play is</td> <td style="width: 50%;">hard every day. to America last year. the piano. kind to everyone.</td> </tr> </table>	I	have	a friend	who	studies went can play is	hard every day. to America last year. the piano. kind to everyone.	<p>・大きい声で言わせる。</p>	
I	have	a friend	who	studies went can play is	hard every day. to America last year. the piano. kind to everyone.			
<p>既習の英文をペアで音読練習する。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;">Thinking Drill を使って正しい英文を書く練習をしよう。</div> <p>指導者の日本語を英文に変えて書く。 答え合わせをする。</p>	<p>・1人に日本語を、もう1人に英語を言わせる。 ・動詞の変化に注意させる。 ・日本語との語順の違いをしっかりと教え、文構造を復習させる。</p>	<p>ア 言語活動において、自ら学んだ表現などを使っている。 (観察)</p>						
<b>2 本時の目標の確認</b>								
関係代名詞 <b>who</b> の文を使って、友だちの夢について正しく書くことができる。								
自己評価表に本時の目標を記入する。								
<b>3 展開</b>								
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;">具体的な場面を設定して英文を書こう。</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;">ホームステイ先の人に手紙を書くことになりました。その中で友だちについて説明する文を書きましょう。</div>								

<p>モデル文を聞く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>I have a friend who ~ . He wants to work as a ~ . I like him.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>I have a friend who ~ . She wants to work as a ~ . I like her.</p> </div> <p>関係代名詞の文がどんな場面で使われているのかを理解する。</p> <p>個人思考</p> <p>前時に得た友だちの情報をもとに,関係代名詞の文を用いて友達の夢について書く。 説明する文を書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>I have a friend who can play soccer. He wants to work as a soccer player. I like him.</p> </div> <p>集団思考</p> <p>グループで説明文を発表し合う。</p> <p>グループで1つ選んで,ホワイトボードに書き,全体で発表する。 相手により伝わりやすい文になるように英文を書きなおす。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>I have a friend who can play soccer. He wants to work as a soccer player. So, he wants to go to Italy someday. I like him.</p> </div> <p>代表者の発表を聞き,自分の書いた英文の語順を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 語順, 動詞の形をじっくり考えて正しく書かせる。</li> <li>・ 単語が書けないときはワークシートの英文を見て,覚えた後書かせる。</li> <li>・ 机間指導を行い,個別支援する。</li> <li>・ 英語で文章を作りにくい場合は,まず日本語で考えさせる。</li> <li>・ 必ず関係代名詞のある文を使わせる。</li> <li>・ はっきり表現させる。</li> <li>・ 動詞に 印をつけさせ,動詞の形が正しいかを確認させる。</li> <li>・ 情報を追加したり,自分の考えなどを入れたりしながら,選んだ説明文を再考させる。</li> <li>・ 正しい語順で書けているか。</li> <li>・ 動詞の形は正しいか。</li> </ul>	<p>イ 関係代名詞 who を含む英文を用いて,説明する文を正しく書くことができる。(ワークシート)</p>
<p><b>5 本時の振り返りと課題の提示</b></p>		
<p>まとめ</p> <p>動詞の変化を意識して正しい語順で書くことができたかを確認する。 自己評価表に記入する。 課題(英語練習プリントにワークシートの英文を書く)を確認する。</p>		

## 【 7 】 評価問題

1. 次の文の ( ) にあてはまる最も適切な英語を、それぞれ下のア～イの中から選び、その記号を書きなさい。

( 1 ) I have a sister who can ( ) volleyball?

ア play    イ plays

( 2 ) Is this the bus which ( ) to Tokyo?

ア go    イ goes

2. 次の人物について、関係代名詞を使って、自分の友達として紹介する文を書きなさい。

みんなに親切な ( be kind to everyone ) である  
なりたい職業：医師

## 【 8 】 家庭学習

ワークシート

1. 次の日本語を英語にしなさい。

( 1 ) 私にはピアノが弾ける友だちがいます。

( 2 ) 私には去年アメリカに行った友だちがいます。

( 3 ) 私にはみんなに優しい友だちがいます。

( 4 ) 私には ( ) な友だちがいます。